

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課		経済観光課			
	政策分野	地域産業	課長名		高石 心平			
	施策	12 観光・交流の振興	重点施策の該当		R2	○	R3	-
施策の目的	対象	観光事業者、観光客	意図	地域の魅力を知ってもらう 所得を増やす				

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標値
種子島への船による入込数(離島カード利用者以外)(人)	—	146,856	130,863	128,222	67,101 (150,000)	151,000
宿泊者数(人)	66,415	68,454	69,164	75,186	50,697 (70,000)	71,000
種子島へ行ってみたい人の割合(%)	96.8	96.3	94.7	94.7	— (97.6)	97.8

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		令和1年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
84.0	24.0	85.2	22.2	82.4	19.6	81.0	14.4		
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
80.1	-10.2	82.9	-7.7	79.6	-15.4	76.9	-19.4		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度目標値
観光施設の整備	8-15 8-16	観光施設・環境の整備・修繕件数(箇所数)	0	1	1	1	2 (2)	2
観光誘客活動の推進	8-15 8-18	種子島への船による入込数(離島カード利用者以外)(人)	—	146,856	130,863	128,222	67,101 (150,000)	151,000
観光誘客活動の推進		宿泊者数(人)	66,415	68,454	69,756	77,052	50,697 (70,000)	71,000
交流事業の推進	8-15	交流者(イベントなどによる来島者)(人)	981	814	712	846	110 (1,200)	1,250
交流事業の推進		民泊人数(人)	260	618	592	414	0 (420)	460
文化歴史資源を活用した観光の推進	8-15 8-17	鉄砲館の入場者数(人)	25,317	29,785	29,788	28,308	13,376 (27,500)	28,000
文化歴史資源を活用した観光の推進		古民家(月窓亭など)の入場者数(人)	8,918	9,661	8,876	8,464	3,519 (11,000)	11,500
文化歴史資源を活用した観光の推進		観光ルートの設定(回)	—	—	—	0	0 (1)	1

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・令和2年度の種子島への入込客数は、153,202人で、令和元年度と比較すると136,399人、47.1%の減となった。主な要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年4月7日に東京都など7都府県に緊急事態宣言が発令され、さらに4月16日からは全国で適用されたことにより、観光客等の来島が大幅に減少したことがあげられる。また、7月22日より国のGO TO トラベルがスタートし、10月からは東京都も対象に追加され、観光客等の来島者が一時的に増加したものの、感染拡大により12月28日以降再び停止措置となった。令和3年1月8日からは、首都圏の1都3県で2度目となる緊急事態宣言が発令、2度の延長を含め3月21日まで続き、観光産業等に大きく影響を与えた。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	・観光施設の整備については、建設後20年以上経過し老朽化した浦田海水浴場シーサイドハウスの天井や照明、更衣室等の改修工事を実施した。今後複数年かけて順次整備を行っていく予定である。また、よきの海水浴場についても、トイレの水洗化や駐車場の改修等を行い、利便性の向上が図られた。 ・観光誘客活動の推進については、令和2年6月1日に全日本ヨガ連盟より「ヨガの聖地」に全国の自治体で初めて認定されたことから、観光庁の事業を活用し、ヨガをフックとしたウェルネスツーリズムの推進に取り組むとともに県及び観光連盟等と連携しながらワーケーションも含めモデルツアーやPR等を行うことができた。 ・交流事業の推進については、新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントや民泊等が中止されるなど、厳しい状況が続いた。ホストタウン事業については、日葡交流160周年にあたりリスボン市で開催された映画祭に本市が舞台となったサーフィン映画の字幕版を提供し、両国の友好関係に寄与することができた。
現状・課題	・新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、本市の観光を取り巻く情勢は厳しさを増している。このため、収束後を見据えた誘客のPRや感染防止対策を踏まえた受入体制の充実等について、どのようにして効果的に取り組むか課題となっている。

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等（他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入）
拡大・充実	・新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえながら、ウイルス感染拡大予防と地域経済の活性化を両立する観光を目指すべく、SNSを活用した情報発信に努めるとともに、まずは国内の旅行者等を中心に近距離から人の流れを回復させていくことに努める。また、アフターコロナを見据え、これまでの観光資源に加えて、ウェルネスツーリズムやワーケーション等、新たな要素を組み入れた交流促進の仕組みづくりを行う。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等（将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など）
拡大・充実	【産業振興部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。 ・以前、よきの海水浴場は廃止すると聞いていたが、その後はどうなったか。→将来において廃止の方向で検討は進んでいるが、地域への説明までには至っていない。まだ決定もしていない。